

<p>No1</p> <p>公開研究会</p> <p>高山エネルギー大作戦 この10年</p> <p>2023年11月2日(木)</p> <p>NPO法人活エネルギーアカデミー 理事長 山崎 昌彦</p>	<p>no2</p> <p>間伐材の利活用のための 定期物流システムと 地域通貨 enepo の発行運営による 循環型経済モデル</p> <p>NPO法人活エネルギーアカデミー 理事長 山崎 昌彦</p>	<p>N03</p> <p>薪割り</p> 	<p>N04</p> <p>炭焼き</p> 
<p>No5</p> <p>水車発電</p> 	<p>No6</p> <p>自家発電ストーブMOMO</p> 	<p>No7</p> <p>生活改善プロジェクト ゴミステーション袋数</p> 	<p>No8</p> <p>プラゴミ対策事業 13カ所まちづくり協議会にて実施</p> 
<p>No9</p> <p>みどり豊かに見えるが。。。 実は。</p> 	<p>No10</p> <p>森のなかは真っ暗で 外向きしか枝がない</p> 	<p>No11</p> <p>WOOD JOB</p> <p>安全講習</p> 	<p>No12</p> <p>間伐 幹・枝・葉っぱ (いくまい水)</p> 
<p>No13</p> <p>いくまい水</p> <p>森から生まれた 水と野菜を育てるお水</p> 	<p>No14</p> <p>飛驒の米がブランドに</p> 	<p>No15</p> <p>次世代につなぐ木の駅プロジェクト</p> <p>20歳代から86歳まで親子3世代 (約120名が登録)</p> <p>毎週(水)・(木) 8:30~11:30</p> 	<p>No16</p> <p>積まマイカーシステム</p> <p>☆木の駅 開設 (18ヶ所)</p> <p>2016年5月6日 調印</p> 

No17

エネポ材を建築用材に活用

ヒノキの床 スギの外壁 マツの防火壁  
ナラ材デッキ

No18

木の駅物流の付加価値UP挑戦

- 通常の材利用
- エネポ材へのルーチン
- ①顧客
- ②設計
- ③山(有用のみを選材)
- ④製材
- エネポ材へのルーチン
- ①山(木の駅に間伐材搬出)
- ②エネポ材(ピックアップ)
- ③設計(顧客)
- ④エネポ規格材を一部活用

No19

山の自然に  
行政と金融機関が  
市民と関わる相関図

No20

小さい林業の自然循環

- 木の駅 と積まマイカー物流 (山主)  
2016年7カ所 → 2023年18カ所
- 山〜製品のサプライチェーン物流 (加工所)  
山→製材所→天然乾燥→加工→工務店

No21

地域通貨の経済循環

500 enepo (金融機関)

・地域通貨協賛店  
2016年11店舗 → 2023年110店舗

No22

No23

No24

エネポの地域通貨運用の考え方

- ①地域のお金を域外に出さない
- ②付加価値の連鎖で相乗効果を生む
- ③コミュニケーションツールとしての役割
- ④発行と回収で総量規制の中でシステムをなす

No25

エネポの地域通貨運用の考え方

- ①地域のお金を域外に出さない
- ②付加価値の連鎖で相乗効果を生む
- ③コミュニケーションツールとしての役割
- ④発行と回収で総量規制の中でシステムをなす

No26

受賞歴

- 第20回中部の未来創造大賞優秀賞 (2020年)
- ディスカバー 富山漁村の宝(2020年)
- 国際会議誘致・開催貢献賞(日本政府観光局) (2021年)
- GOOD DESIGN2021AWARD受賞(2021年)
- crQirAwards(2021年)
- 第22回JIA環境建築賞優秀賞 (2021年)
- 防災・減災×サステナブル大賞ジャパン賞優秀賞(2022年)
- 気候変動アクション環境大臣表彰普及・促進部門 緩和分野 (2022年)
- ジャパン・レジリエンス・アワード強靱化大賞 最優秀賞 (2023年)

No27

地元の団体との協働

赤保木共有土地管理(有)  
飛騨漆の森プロジェクト  
三枝の郷まちづくり協議会  
高山市まち協防災女子会  
高山市教育委員会  
認定NPO法人飛騨高山まちづくりスポット  
NPO法人飛騨高山わらべうたの会

No28

<https://www.facebook.com/enepo.takayama>

YouTube B5朝日

NPO法人活エネルギーアカデミー